

「大野城まどかぴあ」 視察研修

視察研修

玖珠地区人権協

玖珠地区人権教育啓発推進協議会（小野菊男会長）

は、12月2日に福岡県大野城市の「大野城まどかぴあ男女平等推進センター」の視察を行いました。

「大野城まどかぴあ」の林田スマ館長、原田ゆみ子男女平等推進センター所長の歓迎を受け、最初に、原田所長より市民の『学び、語り、いこい、ふれあい』の場として平成8年7月に



自身の体験談などを交え講演される林田館長

引き続き、今研修のメインである林田スマ館長による講演がありました。林田館長は、元職がTBSのアナウンサーをされた経歴があり、当時の経験から女性の職場における社会的地位の確立の難しさや、ご幼少時代の家庭生活における祖父の祖母に対する言動の実話、そして、前職の男女平等推進センター所長等の大変多くの体験と情報を基に語られ、これから女性が頑張る女性

建設され、公益財団法人として運営・活用されている施設の説明がありました。

特に、男女平等推進センターの活動では、「女性ネットワーク大野城」に加入している30団体50個人が日々の活動の積み重ねで、お互いを支え、地域を支え、男女共同参画社会づくりの実現に向けて精力的に活動を行っているため、人間味あふれるコミュニケーション都市大野城市のまちづくりが進んでいることを実感しました。

地位向上と、男女共生社会の確立に向けて取り組む必要性を話されました。

また、大野城市が今日の男女共同参画社会が築かれてきたのは、女性ネットワークの諸団体の根気強い取り組みや、自治委員会への関係者の長年にわたる懇願

等を繰り返し行い実現に至った経緯等も聞くことができました。

参加者は、口々に今回の視察研修が今後の玖珠地区の取り組みにとって大変参考になる内容であったことを確信して散会しました。

玖珠地区食生活改善推進協議会（麦の会 中山キミ子会長）は、糖尿病予防のための健康教室を行いました。

糖尿病予防には、正しい食生活と適度な運動を続けることが大切。毎朝ラジオ体操を3年以上続けている塚脇東町の皆さんと一緒に、ラジオ体操第1・2で

体をほぐした後、糖尿病予防に役立つ献立を紹介し、参加者は麦の会の会員と一緒に調理を行いました。

ヘルシーな食生活と適度な運動で糖尿病予防

メニューの中の、「いわしのハーブパン粉焼き」は、ハーブを使うことでいわしの臭みを消し塩分を控え、油で揚げずにオーブン

で焼くので、油の量も抑えた一品。

お正月・新年会などで血糖・体重が変化しやすい時期、ちょっとした工夫でヘルシーに過ごしましょう。



塩分や油分を控えた料理の実習

河川敷に花苗植え



河川敷花壇に、色とりどりのパンジー

玖珠地区コミュニティ生環境部会では、12月4日に、玖珠川河川敷花壇に花苗植えを行いました。

部会員と塚脇やすらぎ河川公園管理協議会、コミュニティ女性部の協力で、パンジー苗670本とオタフクナンテン90本を植えました。

生活環境部会では、年間を通じて河川敷の整備を行っており、草刈りをはじめ、花壇には夏と冬の2回季節の花を植えています。

